成」の実現に取り組んでまいります。去る1月に着手しました那覇港公有水面埋立事業は、那覇港港湾計画に基づき浦添ふ頭地区の第1ステージ事業として緊急性の高い用地造成を行うものであり、臨港道路浦添線の一部橋梁化、及び港湾機能を支援するための緑地整備を精力的に促進してまいります。また、第2・第3ステージについてはコースタルリゾート地区の形成、及び高次的な都市機能の集積により、本市発展に寄与する大きなポテンシャルを有していることから、引き続き整備展開の実現を図ってまいります。

<浦添ルートイメージ図>

跡地利用計画

牧港補給地区の返還スケジュールを見据えるなかで、地権者や市民及び関係機関との合意形成を図りつつ、実効性のある跡地利用計画を策定してまいります。本年度は、本地区のまちづくりの指針となる基本構想の策定に取り組んでまいります。

沖縄都市モノレール延長の整備促進

沖縄都市モノレール延長における浦添ルートが決定したことにより、本年度から着工準備のための諸調査に沖縄県、那覇市と共に着手いたします。また、今後経営参画するモノレールの利用促進と市民の移動の利便性を高めるため、古島駅を起終点とするコミュニティバス導入等の検討に取り組んでまいります。

幹線道路等の整備促進

地域交通の円滑化、安全性等、快適な暮しを支えるため、生活基盤となる道路整備の推進、促進を引き続き図ってまいります。主要幹線道路である沖縄西海岸道路浦添北道路及び、幹線道路の浦添西原線港川道路の整備については、事業主体である国、県と協議し整備促進に努めてまいります。補助幹線道路の整備については、継続事業として神森線外3路線の早期完成・供用開始を目指してまいります。生活道路については、緊急性のある道路を優先して整備を行い、快適で潤いのある道路空間の創出と、道路の機能維持に努めてまいります。新規事業として仲西小中学校の通学路であるオリオン通り線の整備事業に着手するとともに、継続事業として浦西中学線外4路線の事業を推進してまいります。

ほかにも

○浦添市産業振興センター「結の街」を引き続き活用し、「文化」「産業」「交流」の拠点として「経済の活性」と「雇用機会の創出」に取り組む
○今年10年目を迎えたプロ野球キャンプでは、情報発信効果、青少年健全育成効果、経済効果などが望めることから「浦添市観光協会」と連携し、東京ヤクルトスワローズ浦添キャンプを強力に推進
○下水道は、南第一・南第二土地区画整理区域内及び既存市街地未整備区域の施設整備を拡充
○上水道については、将来にわたり安全で安心できる水の安定供給を確保するため、老朽化した配水管の布設替えや配水管網の整備を推進
○IT化に対応した電子自治体の実現に向けて、第5次総合行政システム構築事業を引き続き推進し、業務及びシステムの効率化と、セキュリティーの向上による安心・安全な行政サービス提供

未来へはばたく交流文化都市

生涯学習の推進

市民が心身ともに充実した豊かな人生を送るためには、学校教育段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていくことが必要であり、そのための環境づくりを進めることが重要であります。

本年度は、「第二次浦添市生涯学習推進計画」に基づく「てだこ市民大学」が開講します。まちづくりの担い手の一人として地域社会などに還元できる人材を養成してまいります。

また、浦添市てだこ学園大学院の運営や、中央公民館等社会教育施設における各種講座の開設により、生涯学習の充実を図ってまいります。

学力の向上

学校・家庭・地域社会の連携を深め、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するとともに、平成20年4月に行われた全国学力・学習状況調査で本県が昨年に続き最下位だった結果を受け、細やかな分析と考察を行い、適切な学力向上対策を積極的に講じてまいります。併せて沖縄県の「夢・にぬふぁ星プランⅡ」を踏まえ、中学校区の学力向上対策実践発表会や標準学力調査等、本市独自の取り組みも充実させながら児童生徒の学力向上に努めてまいります。

英語教育の推進については、子どもの頃から様々な文化に直接触れることは、異文化への理解や、豊かな感性を育む上で重要であるとの認識のもと、本年度より「中学生海外短期留学派遣事業」を実施します。

情報教育の推進

「第3次浦添市情報教育推進3ヶ年計画」が本年度よりスタートします。これまでコンピュータを効果的に活用した授業改善や、情報モラル指導を展開してきました。引き続き本市の児童・生徒の情報活用能力を高め、21世紀を担う人材、世界に通用する人材の育成を目指し、各学校の情報教育推進体制の確立を図ってまいります。

教育施設の整備充実

教育施設の整備については、良好な学習環境の確保のため、本年度は継続事業として内間小学校校舎改築事業及び神森小学校屋内運動場改築事業に取り組んでまいります。

また安全・安心な学校給食の安定的な提供を引き続き確保するため、浦添共同調理場改修事業を実施してまいります。

ほかにも

○放課後子ども教室推進事業の実施
○まなびフェスタ浦添の開催
○てだこウォーク2010の開催
○セカンドスクールの実施
○特別支援教室の充実
○子ども体験学習事業や少年の船派遣事業等、体験学習や相互交流機会の充実
○浦添市・泉州市小中学生交流事業の実施
○開館20周年を迎える美術館では、「(仮称)沖縄の人間国宝展」を開催
○第10回浦添市小中学校美術作品展を開催
○第2期事業として浦添グスクの発掘調査、城跡としての存在をより実感できる城壁復元整備、史跡・仲間樋川の復元整備
○浅野浦地区学習等供用施設実施設計
○てだこまつり
○蒲郡市及び中国泉州市との友好都市交流事業
○「中学生平和交流事業」「南米移住者子弟研修生受入事業」「外国青年招致事業」を実施
○「第2次浦添市男女共同参画行動計画(てだこ女男プラン)」に基づき、様々な研修等による知識の習得や意識啓発を実施

ハートがかよう健康福祉都市

少子化対策

出産時における妊婦と子どもの安全と健康を確保するため、定期的な妊婦一般健康診査の公費負担を、5回から14回に大幅に拡充してまいります。また、国民健康保険給付については、平成21年10月より、出産育児一時金の支給額を4万円引き上げてまいります。

子育て支援

市立保育所、法人保育園では、通常保育をはじめ延長保育、障がい児保育等、保護者ニーズに応じた保育サービスの充実を図ってまいります。虫歯予防対策の充実のため、今年度より公立保育所、法人保育園、認可外保育所の児童を対象に、「フッ化物洗口事業」を実施してまいります。

子育て家庭が抱える育児不安について、家庭における養育機能を向上させ、自信を持って子育てができる支援として、相談指導及び子育てサークルの育成・支援、育児相談等を行う「子育て支援センター」・「つどいの広場」、地域で子育てを支え合う「ファミリーサポートセンター事業」を引き続き実施してまいります。

待機児童解消及び健康診断の実施

行政課題である待機児童解消の施策としては、新たに法人保育園を1箇所創設いたします。また本市独自の取り組みである「指定保育施設事業」も引き続き実施してまいります。認可外保育施設に対しては従来の助成事業に加え、米の現物支給や、市が窓口となり医師を派遣する健康診断を実施してまいります。

障がい者・高齢者福祉の充実

障がい者福祉については、「第2次てだこ障がい者プラン」の内容を、着実に実行に移してまいります。障がい者の相談支援機能の充実・強化を図るため設置された浦添市障がい者自立支援協議会では、さらに専門的な相談体制づくりに取り組んでまいります。

高齢者福祉については、平成20年度に策定した「第2次てだこ高齢者プラン」の実現に向け、将来の高齢者像をいきいきチャレンジ高齢者と掲げ、要援護高齢者などがより充実した在宅生活が送れるよう、日常生活上の支援、通院通所の移動支援、並びに見守り支援等を実施してまいります。

ほかにも

○地域でふれあい、支えあう心の通うまちづくりへの展開を図るため、引き続きコミュニティーソーシャルワーク事業の推進
○ブックスタート事業の充実・強化